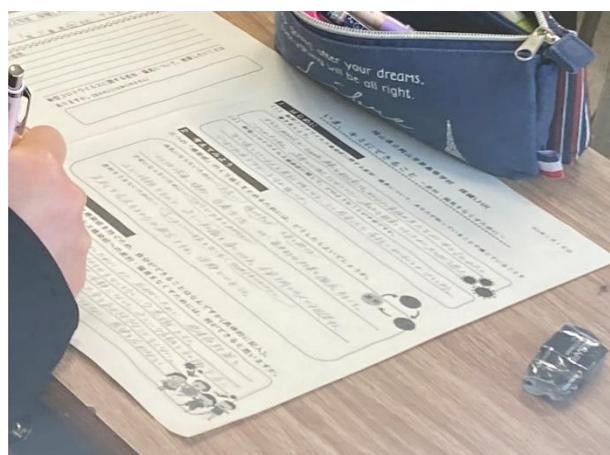


## 保健委員による LHR を実施しました。

～「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見、感染予防について」～

令和3年1月18日(月)7限に、保健 LHR を実施しました。各クラスの保健委員が進行役となり、学校保健会制作・文部科学省監修の動画をもとにワークシートを活用し授業を展開しました。

この授業を通して、感染者に対する差別や偏見を自分たちが無意識のうちに持っていないか振り返ることができました。今なお収束がみられない中、これ以上の感染拡大を防ぐためには何ができるか、感染症に関わる人とどのように接するべきなのかを考える機会をもちました。「戦うべき相手はウイルスであって人ではない」ということを理解したうえで、感染拡大防止に努め、感染症による差別や偏見をなくすことができるよう今後も学校一丸となってサポートしていきたいと考えています。



### 【保健 LHR 生徒感想より抜粋】

- ・「目に見えないウイルスへの不安を目に見える感染者にぶつけることで不安を和らげようとしている」という表現にとっても納得した。正しい知識を持ち、「正しくおそれる」ことが大切。自分の発言が他人を傷つけていないか意識して生活していきたい。
- ・「三密を防ぐ」「手洗い」「消毒」「マスク着用」といった基本的な感染予防対策を一層徹底していくのと同時に、差別や偏見によって容易に周りの人に相談できなくなる状況をつくらないようにしようと思った。
- ・感染対策をしながらコロナ禍の中でできる楽しいことや頑張れることを見つけて過ごしていきたい。
- ・病気・不安・差別の「3つの感染症」という言葉を初めて知った。「不安」や「差別」も感染することを知り、一人ひとりの意識の持ちようが大切だと思った。
- ・コロナに関する差別・偏見に対する不安はなくすことが可能だと思う。自分だけではなく今頑張ってくれている医療従事者のためにも3つの感染症の対策をしようと思った。
- ・誰でも感染する可能性があることを知り、感染してしまった人にも思いやりを持って温かく接することが大切だとかわかった。